

阪南市の祭やぐら

平成 28 年 10 月 2 日 日曜日 パレード
 10 月 9 日 日曜日 波太神社宮入り
 10 月 10 日 月曜日 菅原神社宮入り
 10 月 10 日 月曜日 神輿渡御



【自然田東組】大工:植山工務店・彫師:木影岸田によって新調、本年 8 月 21 日に新調入魂式を行ったばかりの一番新しいやぐら。(東鳥取五地区)



【箱作東】平成 12 年大工:武輪建設、彫刻:坂本工芸によって新調。今年、下荘地区の宮当番として下荘地区のやぐらが菅原神社へ宮入りする。(下荘地区)



【貝掛】昭和 6 年大工:森下小一師、彫師:高松一門によって新調。今年、武輪建設によって駒を新調しました。(下荘地区)



【榮組】平成 2 年大工:岡川公一師、章師兄弟、彫師:木下頼定師によって新調。榮は「さかえ」と呼ぶ。(西鳥取地区)



【自然田上組】大正 12 年大工:有岡製作所によって新調。2 年後の平成 30 年、大工:吉建設 中谷吉臣師、彫師:木影山本によって新調予定。(東鳥取五地区)



【尾崎宮本町】平成 5 年大工:成尾義一師、彫師:木下彫刻工芸によって新調。波太神社宮入り時のみ赤地に白文字の提燈を付ける。(尾崎地区)



【大西町】平成 23 年大工:板谷工務店、彫師:木下彫刻工芸によって新調。今年新調 5 周年を迎え、板谷工務店の出世やぐらである。(尾崎地区)



【鳥取中】平成 9 年大工:武輪建設、彫師:坂本工芸によって新調。武輪俊夫師の出世やぐらである。(東鳥取四地区)



【朝日町】平成 2 年大工:古川保師、彫師:春田欄間店によって新調。阪南市で唯一、吹き散りを付けています。(尾崎地区)



【自然田上東組】平成 25 年大工:植山工務店、彫師:木影山本によって新調。植山工務店の出世やぐらである。(東鳥取五地区)



【黒田】大正 6 年大工:高松利平師、彫師:美濃村松雲師によって新調。昨年、川口建設によって駒を新調しました。(東鳥取四地区)



【箱作西】昭和 63 年大工:安田建設、彫師:坂本工芸によって新調。宮入りは地元の加茂神社へ宮入りする。(下荘地区)



【下出】平成 20 年大工:岡川章師、彫師:西澤大美術によって新調。小屋根枘合を三方見送りとするなど素晴らしいやぐらである。(東鳥取四地区)



【新町】平成元年大工:大津和三部師、谷本曉師、見本隆隆師、彫師:木下頼定師によって新調。今年、8 年ぶりに神輿渡御を行う。(西鳥取地区)



【波有手組】平成 2 年大工:岡川公一師、章師兄弟、柿野師、彫師:木下頼定師によって新調。波太神社宮入り時のみ正面に大漁旗を掲げる。(西鳥取地区)



【和泉鳥取】平成 25 年大工:金剛組、彫師:木影片山、木影前田工房によって新調。旧東鳥取町時代まで新家と言う地名だった。(東鳥取五地区)



【相生町】平成 8 年大工:竹安建設、彫師:木下彫刻工芸によって新調。昔は曳行休止していたが平成 8 年より復活。(尾崎地区)



【石田宮本】平成 2 年大工:川端建設、彫師:木下賢治師によって新調。波太神社の御座元である。(東鳥取四地区)



【山中溪】明治時代初期に信達岡中のやぐらとして新調。平成 31 年、大工:井上工務店、彫師:木影片山・木影前田工房によって新調予定。(東鳥取五地区)



【西鳥取上組】平成 6 年に大工:古川工務店、彫師:坂本工芸によって新調。昨年よりパレードへ不参加。(西鳥取地区)



10 月 2 日 日曜日



10 月 9 日 日曜日



10 月 10 日 月曜日



阪南市の祭・やぐら
<http://yagura.fan-site.net>

平成 28 年 9 月 27 日 発行